

2026年3月12日

報道関係者各位

東急リゾート&amp;ステイ株式会社

## つかうほど、守れるホテル 東急ステイが「人×森×未来」をむすぶ サーキュラーストーリーを展開

東急リゾート&ステイ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：丹下 慎也、以下「当社」）は、全国に32施設を展開する「東急ステイ」において、持続可能な体験型ライフスタイルホテル運営の実現に向けた取り組みを進めています。ホテル改修や制服リニューアルに伴うインテリア・リネン・制服類のアップサイクルや、食品ロス削減を目的とした冷凍朝食の導入など積極的に実施してきました。さらに今年度からは、渋谷の繊維ごみ由来の「渋谷ペーパー」を用いたキーケースや、東急リゾートタウン蓼科の森の間伐材から生まれたルームキー・間伐材ガチャなど、新たな取り組みを開始しました。

これらは、チェックインからチェックアウトまでの滞在動線に沿い、人・森・未来とつながる3つの体験として、お客様が楽しみながら資源循環に参加できるサーキュラーストーリーです。当社は、この循環を表現するため制作した「東急ステイ環境ロゴ」とともに、さらなる日本の環境保全・地域共生・お客様の体験価値向上をホテル運営の軸に据え、サステナブルな行動の輪を広げていくことを目指します。



### ■自社で回す循環モデル —お客様と共に創るサステナブルプロジェクト

昨今、大量の生産・消費・廃棄による繊維ごみの増加や、自然環境や生物多様性の保全などあらゆる環境課題が多くあるなか、東急ステイではホテル側の取り組みだけではなく、宿泊することで資源循環に参加・貢献する取り組みをお客様とともに推進してまいります。

今回その意思を表す「東急ステイ環境ロゴ」を新たに作成し、館内の環境配慮施策などへも掲出することで、お客様に取り組み内容を直感的に理解し、無理なく参加いただけるきっかけをつくります。また、資源循環の取り組みを以下の3つの体験として、お客様へご提供いたします。

- ・ 渋谷の繊維ごみ由来の「渋谷ペーパーキーケース」による“人とつながる”体験
- ・ 蓼科の森の間伐材を用いた「間伐材ルームキー」で“森とつながる”体験
- ・ 返却キーから「間伐材ガチャ」へつなぐ“未来につながる”体験

### ■ “人と繋がる” — この街で生まれたキーケースが、旅の思い出になる

渋谷区の中学生発案の不要となった衣類やリネンから作られた「渋谷ペーパー」を使い、桑沢デザイン研究所の学生がデザインしたキーケースリニューアルプロジェクトとして、「人とつながる 渋谷ペーパー キーケース」を制作しました。チェックインでルームキーと一緒に受取り、滞在中も手に取ることで、旅の思い出の中に“渋谷のストーリー”を感じていただきたいという想いを込めています。

キーケースはルームキーを包む用途に加え、折り紙のように折って形をつくることができ、折り鶴などの“折って楽しむ”体験を滞在の一部としてご提供します。旅を終えご自宅に戻られてからも、写真立てや小物ケースとしてご使用いただくことができ、使い続けることで渋谷発の循環の取り組みを国内外へ広げていくきっかけにもつながると考えます。



### ■ “森とつながる” — 蓼科の森とつながり、未来へつなぐボタン「間伐材ルームキー」

東急ステイにご滞在いただく間、毎日手に取るルームキーを、未来とお客様へつなぐ“ボタン（Key）”に変えていく挑戦を続けています。その象徴として導入するのが、東急不動産グループの施設がある蓼科の森で生まれた間伐材を活用した「間伐材ルームキー」です。

蓼科では、かつて土砂災害を経験したことを教訓に、手入れが行き届かず貧弱化していた森を健康な状態へと再生するため、開発と保全の在り方を根本から見直しました。“森とともに暮らす”という発想で、「まもる×つなぐ×つかう」のサイクルを通じて森を健全化し、持続可能な未来へつなぐ取り組みを進めています。

蓼科の森で綿密に計画された間伐から生まれる間伐材は、森を健やかに保つために欠かせない作業の賜物である一方、節が多いなどの特性から活用の幅が限られることもあります。そこで東急ステイでは、ホテルに欠かせない「ルームキー」の素材としてこの間伐材を採用し、素材の手触りや木目を通じて、泊まることが森とつながる体験になることを目指します。



間伐材ルームキーイメージ

### ■ “未来とつながる” — 滞在の最後に、体験は未来へとつながる。

チェックアウト時に間伐材ルームキーをご返却いただくと、その場で「間伐材ガチャ」を体験いただけます。返却で終わらせず、“借りる・返す”という循環を次の楽しみへつなげ、旅の思い出に資源循環のストーリーを添える取り組みです。

誰もが直感的に楽しめ、会話が生まれるガチャを採用し、サステナブルな取り組みを理解から体験へと転換します。間伐材のカードキーからガチャまで一貫した物語で、ホテルの当たり前の中に森と資源循環の価値を自然に織り込みます。



間伐材ガチャイメージ

### ■ 「東急ステイ」について

東急ステイでは、ブランドコンセプト「Stay Connected.」のもと、日本各地で地域や文化と人をつなぎ、お客様が新たな発見や自分自身との再会を体験できる滞在をご提案しています。

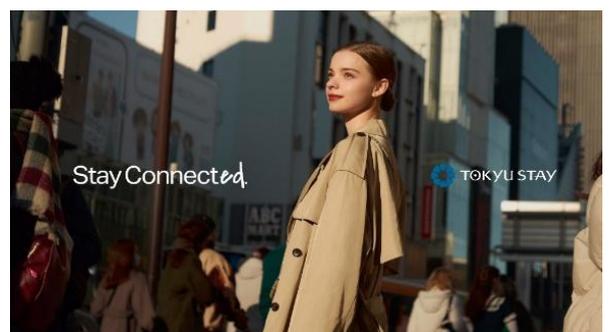
### 新ブランドコンセプトムービー： [【東急ステイ】 New brand concept 「Stay Connected.」 Official Movie](#)

【東急ステイ施設数】 全国 32 施設（2026 年 3 月恵比寿・5 月広島に 2 施設オープン予定）

【客室数】 5,154 室 ※東急ステイレジデンスを除く

【東急ステイ公式サイト】 <https://www.tokyustay.co.jp/>

【姉妹ブランド】 [nol kyoto sanjo](#)（京都市中京区）、  
[nol hakone myojindai](#)（神奈川県箱根町）



## ■「東急リゾート&ステイ株式会社」について

東急リゾート&ステイは、東急ステイや東急ハーヴェストクラブをはじめ、受賞歴を誇る鬼怒川溪翠やROKU KYOTO, LXR Hotels & Resortsなどのホテル・ゴルフ・スキー・EC事業など、全国に広がる運営施設を展開しています。

1960年代から別荘管理やゴルフ場の運営を手がけ、1980年代にはスキー場の運営や東急ハーヴェストクラブの運営受託を開始。1990年代には「東急ステイ」を立ち上げるなど、長年にわたり多彩な施設運営を行ってきました。現在、当社が運営する100を超える施設では、国内のみならず世界中から多くのお客様を受け入れており、年間利用者数は約680万人にのぼります。

こうした実績とノウハウ、地域・行政・お取引先との長期的な関係構築や新たなことへの挑戦する姿勢を強みとして、出会うすべての人へ日本各地の魅力を伝え、“楽しい”を提供していくことを目指しています。

## ■環境体験の取り組みとしての「体感型サステナブルリゾート」

東急不動産・東急リゾート&ステイ・東急リゾートの3社は「体感型サステナブルリゾート」として、3つのテーマ「環境」「体験」「地域」に基づいた、楽しみながら地球や地域に優しく過ごせるサステナブルな空間や体験・活動を、施設を訪れるお客様やステークホルダーの皆様へ提供していきます。

「体感型サステナブルリゾート」のコンセプトや、当社リゾート施設で提供している環境体験を紹介するWEBサイトはこちらから

### ENJOY! GREEN GUIDE

URL | <https://www.tokyu-green-resort.com/>

